



# 新有権者として

## 選挙に対する自覚

鈴木善雄

昭和三十四年の春を迎え、私は新有権者として選挙に對する自覚を述べさせていきたいと思います。

今年には選挙の年だと云われ、地方一斉選挙と参議院議員通常選挙のあることはみんなが承知のところであり、この年にあたつて、私たちに主権者たる一票が与えられたことは、誠に意義深く責任の重大なることを痛感すると共に、一層の生気と気魄とで張り加えられたような力強さと喜びを感じずにはいられません。

日本国憲法にすべての国民は法の下の平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により政治的経済的又は社会的關係において差別されない」とうたわれていますが、私たちは社会的にも法的にもいわゆる大人として認められたのである。

今後は選挙の度に一票を投ずるわけであるが、私はその投票の瞬間に對する責任を深く考えさせられるものであります。

現に今日、ラジオ、新聞、テレビで報じられる政治問題、社会問題はすべてこの瞬間の一票の積み重ねの現れとして深く選挙民たる者の反省せざるを得ないものである。

そこで限られた候補者に對するその瞬間的行為が、四年にわたる全権を付託するものであるが、信託されたものも国民の権利を守り、福祉を増進することの自覚をもつものでなければならぬ。

選挙権ほど重大な権利義務はないと云つてよかる。私たちが新有権者は学生生活の中で選挙のこと、政治社会に對する正しい見方の教育を一通り教えられて来たわけであるが、今迄の選挙を見聞してあるとき、まだ遺憾とするところが多いように思われ、今迄私達選挙権のなかつた者の中にもいよいよ論じられて来た。

## あと二カ月で一年生

### 今春入学児童の父兄の方へ

◆入学の通知  
この四月までに満六才になる子供をもつ父兄の方へ教育委員会から入学の期日と指定学校が通知されたことと思ひます。しかし入学通知は、十二月一日の住民票をもととしていますからその後の住所変更をされた方は必ず在住地の教育委員会へ届け出なければ、通知がゆきませんから御注意下さい。

◆入学の通知  
そのほか不審のことがありましたら、教育委員会へ連絡して下さい。

◆就学困難な場合  
経済上の理由や、特殊児童、肢体不自由児、精神薄弱児及び虚弱児等で、就学困難な場合は色々解決の道が開けておりますので教育委員会か、もしくは最寄りの学校へ御相談願ひます。

◆入学身体検査の結果を生かして  
本年から学校保健法に基づき、

## 婦人の生活を向上

### させるために

最近村の婦人がいろいろな面で積極的な活動をおこなつています。今日家庭の主婦としての立場をみると必ずしも婦人の地位は高められていない。そこで婦人が自分の生活を向上させ、地位を高める為に、身につけていかなければならないことを学びとらうと、村の婦人会では公民館の呼びかけにより婦人学級を各地区ではじめた。

婦人が社会人として新しい時代にふさわしい人間になるためには、一般的な教養や、知識を身につけることも大切であるが、それだけでなく、自分の力で又、

みんなが社会の中のいろいろなことや、自分の身近な問題を考へてみる必要がある。

婦人学級では、仲間がお互いに話し合いを通じて自主的に計画を立てて、活動しているが、いまのところ学校の先生方の指導でメソッド法のはなしとか、子供のしつけについて一生懸命勉強しているのが多い。

公民館では婦人学級は部落の婦人会とか、嫁の会とか、PTAの仲間などが、気がるにムリなく集り、みんなが計画を立てて、できるだけ継続して活動してゆくようにはたらきかけている。

## 農村主婦と作付計画

中部地区農改普及所

樋口虎治郎

### ナンでもカンでも食うものはと云う考え

耕地が白雪に覆われ、激しい労働から解放され、ヤレヤレと思つたのもツカの間三月ともなれば今年の収穫を夢みて、アレコレ作付の計画に頭をシボる。田圃はどんな品種が、どのような肥料をどの位と、又畑は、ドコに何を作つて、家畜のエサにし、アソコには何を作つて、山崎へ売り、イクラ金ラトツテ……、コヤンはどうしたら……とそれぞれ考へる。考へないとしたら平年作アタマと云うことになるか。

「マーズ、オラ女衆はダメもないものを、アレもコレもとつくりたがつて困るテ……」

これはよく聞く男衆のクドキモンク。では特に女衆の作りたがる野菜はと問われるからあげてみよう。先ず「雪ワリ豆と称するものから始まり、赤い豆、青い豆、白い豆、色とりどり、次にカボチャ、ツケ菜類、

大根、イモ類(人間エサ用に)その他、一坪、二坪のものが多い、ムヤミに多く作りたがるもの、大根、イモ、ツケ菜を必要以上に作り、春アマらし、廣らし捨てる。どうしてこのようなのを……、冬期間農村婦人のリクレーションの場と云われるコタツでの茶話談義の際の食べものが案外多量である。

今ではすっかり水田化さ

この難事業を続けたが、費用があまりにもかさみ、到底自力では支えきれず、ついに僅かな金額で村民にこの権利を譲り与えた。これを受けた村民は、続いて用水路を築造し、この原の外

高百二十石九斗四升四合、この反別が田畑二十町三反三畝二十一歩となつた。

文化七年七月、代官辻甚太郎の検地のときは、高二十三石九斗二升八合、その田畑及び屋敷の反別は、四町八反五畝三歩増加した。

以上三回の検地で計高百八十四石三斗四升八合、外に冥加米五石八斗六合を納める実力を有するようになり、田沢新田という一村の設立、この一村の総領守に伏見稻荷に出願田開稻荷を勧請し来り、旧六月十二日大祭典とし、部落当番制でこの祭典を奉行する慣しを以て今日に致つている

## 桔梗原の由来

頭城郡松之山郷松代の高道山、上山、田中、小原人、柳文平という人がこの地に目をつけ、約七軒の開田して、寛政元年八月、東田尻より清津川の水流を堰いて分水引用し、数十カ所の難所を、或は堀割、或は洞穴をうがち、山川の歩となる。その後享和二年

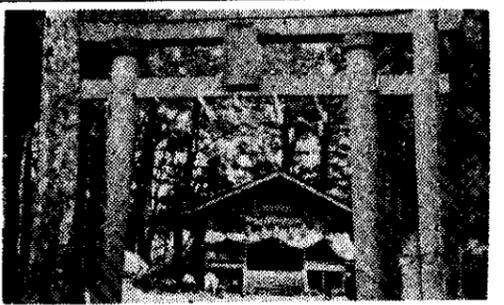
この難事業を続けたが、費用があまりにもかさみ、到底自力では支えきれず、ついに僅かな金額で村民にこの権利を譲り与えた。これを受けた村民は、続いて用水路を築造し、この原の外

高百二十石九斗四升四合、この反別が田畑二十町三反三畝二十一歩となつた。

文化七年七月、代官辻甚太郎の検地のときは、高二十三石九斗二升八合、その田畑及び屋敷の反別は、四町八反五畝三歩増加した。

以上三回の検地で計高百八十四石三斗四升八合、外に冥加米五石八斗六合を納める実力を有するようになり、田沢新田という一村の設立、この一村の総領守に伏見稻荷に出願田開稻荷を勧請し来り、旧六月十二日大祭典とし、部落当番制でこの祭典を奉行する慣しを以て今日に致つている

無駄のない生活にしよう



れた桔梗原も、昔は狐や狼の巣窟であつたという。その交鎖する所は川蓋でおおい